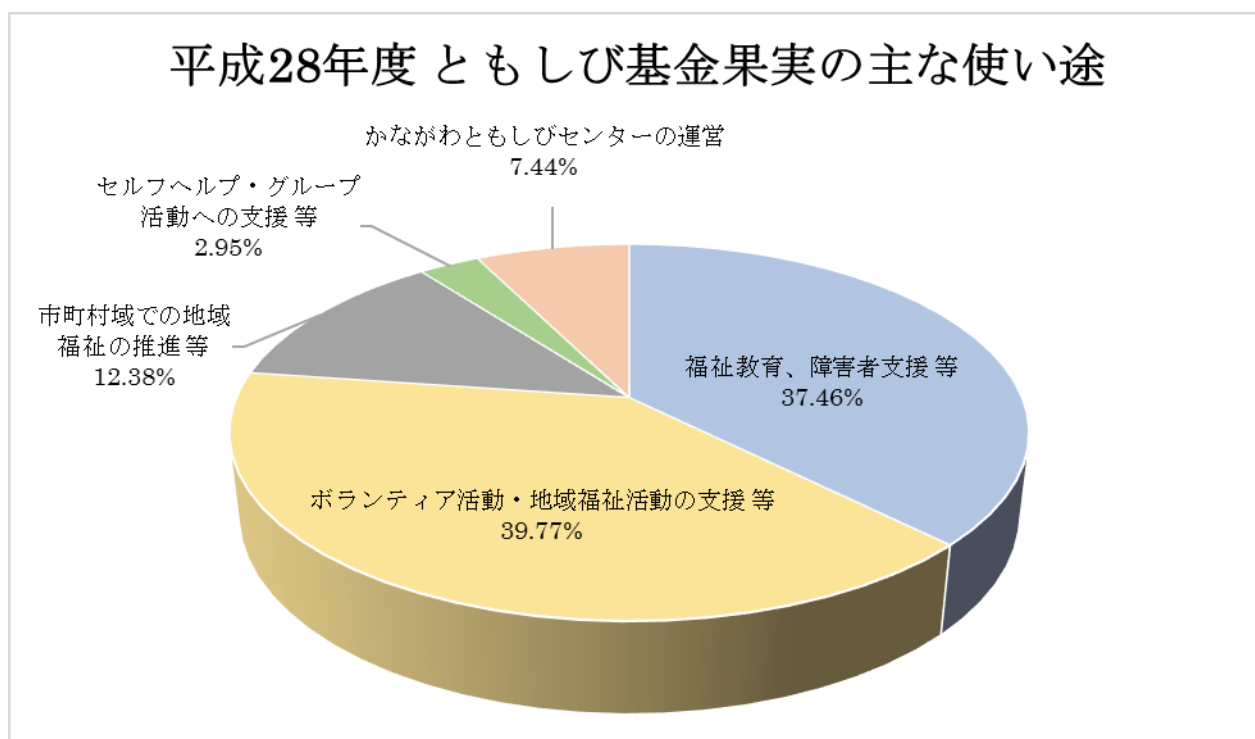


# 平成28年度 ともしび基金の報告

みなさまからの心温まるご寄附は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの1年間で、194件、364万271円となりました。誠にありがとうございました。  
内訳は次のとおりです。

内 訳		
個 人	23 件	372,721 円
企業・団体	58 件	2,456,075 円
募 金 箱	113 件	811,475 円



ともしび基金の総額は平成29年3月末日で23億2,202万9,466円となり、基金から生じた果実（利息）は、2,838万64円となりました。

※平成28年度に実施した事業概要は裏面をご覧ください

## 平成 28 年度に実施した事業概要

### ①福祉教育のために

人と人が思いやり、助け合うことのできる「ともに生きる福祉社会づくり」を子どもたちの目線で考え「福祉の心」の大切さを文章や絵で自由に表現する第 40 回神奈川県福祉作文コンクール。作文 9,381 編の応募があり、作品を通した子どもたちのメッセージから世代を超えた感動や共感が生まれ、広がっています。

### ②ボランティア活動の支援・当事者活動支援（セルフヘルプ）のために

地域での支え合いやなかまづくりとなるサロンの運営、様々な依存症から回復した当事者たちの経験をわかち合うセミナーの開催、外国につながる児童への学習サポート、災害ボランティアによる救護活動の為に図上訓練など、当事者・ボランティア団体等の活動を支援しました。

また、セルフヘルプ・グループ（同じ悩みや問題を抱える人たちの自主的なグループ）の理解促進にむけて、「セルフヘルプ実践セミナー」を開催した他、セルフヘルプ・グループのヨコのつながりをつくることを目的とした「グループ交流会」を実施しました。

### ③障害者支援のために

障害のある方が社会で働くことを実感し、仲間や地域とのふれあいを通して、その自立と社会参加を実現していく「ともしびショップ」（※1）は 41 店舗が活動。設備更新に 5 店舗、地域交流会開催経費として 3 件助成しました。また、12 月 3 日からの障害者週間では、障害児のスポーツへの取組みを、神奈川新聞に意見広告（※2）として 12 月 2 日に掲載しました。

### ④市町村域での地域福祉の推進のために

市町村域において地域の課題解決に向けた住民参加による取組みがより推進されるよう、市町村社協等が行う当事者活動支援や地域福祉活動の実践などに対し、助成しました。

生活困窮世帯や障害のあるお子さんを対象にした地域のボランティアによる学習支援の取組みや、知的障害児家庭と地域住民との交流、鉄道会社と連携した体験型の福祉教育等、それぞれの地域の特性に沿った住民主体の有意義な事業が展開されました。

また、市町村域での住民を主体とした地域づくりをめざして、地域住民・市町村社協等と協働し、2 地域において地域アセスメントを行いました。住民のニーズを明らかにし、関係者同士の繋がりや情報共有の場・ツールをつくることができました。

**みなさまの一燈にささえられ「ともしび基金」はさまざまな活動を広めています。**

人を思いやり、大切にしようとする気持ちは小さな「ともしび」となり心にともります。「ともしび基金」は、そうした一人ひとりの胸にともった“こころのともしび”を持ち寄り地域を明るく、そして温かく照らしていこうと始まった活動から設置された基金です。

私たちの住んでいるまちにはさまざまな人たちが住んでいます。高齢者も若者も、障害のある人もない人も、国籍が違って、ともに手を取り合って歩むことのできる「ともに生きる」福祉社会をめざしています。